

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 内水面振興施設整備事業費(長寿命化・単建)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川・水産振興課漁業振興係 電話番号：058-272-1111(内4214)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,113 千円 (現計予算額： 96,146 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入 収	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	96,146	0	0	0	0	0	0	71,800	24,346
要求額	30,113	0	0	0	0	0	0	22,300	7,813
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県魚苗センター

- ・本施設は昭和47年に設置されて以降、良質な放流用あゆ種苗を安定的に供給することで本県の内水面漁業の振興に大きく貢献してきた。
- ・当該施設は、建設、事業開始から50年以上が経過しており、飼育施設は経年劣化等により飼育機能の低下が認められていた。このため、県有建物長寿命化計画に位置付け、大規模修繕を実施した(H30～R7)。
- ・飼育機能の低下は、生産量の低下に直結することから、飼育施設の改修を優先的に実施した。
- ・このため、本来、更新時期を迎えているポンプ類を先送りにしていたことから、ポンプによっては更新時期を大幅に超過してものもある。
- ・井戸ポンプの故障は、飼育水の供給停止となり、鮎生産ができなくなり、大きな被害を与える危機を招くこととなることから、早急の更新が必要である。

(2) 事業内容

岐阜県魚苗センターの改修工事

- ・美濃事業所：場外井戸ポンプ更新(8号・9号・10号)

(3) 県負担・補助率の考え方

県所有の施設であることから、県の負担で実施する必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	134	業務旅費
需用費	122	消耗品費
役務費	47	通信運搬費
工事請負費	29,810	改修工事
合計	30,113	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- 岐阜県県有建物長寿命化計画
「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画

(2) 後年度の財政負担

県有施設の改修（修繕を含む。）工事であることから、継続して計画的に実施する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

県有施設の改修（修繕を含む。）工事であることから、県が実施することが適当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と評価

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

現存施設の維持管理で、現在の機能を維持することを目的とする事業であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	<p>○美濃事業所C棟工事（建屋、機械設備、電気設備）を実施</p> <p>○美濃事業所A棟改修工事の実施設計業務を実施</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	<p>○美濃事業所A棟改修工事（受水槽、配管等）を実施</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	施設機能を維持するため、計画的に修繕工事等を実施するもので、必要性の高い事業である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	施設の生産規模を大幅に減少させることなく改修工事を実施する必要がある、3ヶ年に渡って計画的に改修を実施

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	